

防犯 かわちながの

平成28年3月

第9号

河内長野防犯協議会

586-0024

河内長野市西之山町6-1

河内長野警察署内

TEL0721-54-1234



大阪一の安全安心なまち河内長野

平成27年、河内長野市は犯罪発生件数を大幅に削減し、犯罪発生率（人口10万人当たりの犯罪発生認知件数）も大阪府下で最も少ない、即ち大阪一の安全安心なまちでした。

河内長野警察管内犯罪認知件数

刑法犯 総数	街頭犯罪総数								特殊詐欺	
		ひったくり	路上強盗	自動車盜	オートバイ盜	自転車盜	車上ねらい	部品ねらい		
26年	1014	420	0	1	20	31	186	120	62	9
27年	799	321	2	0	4	47	140	75	53	15
増 減	-215	-99	2	-1	-16	16	-46	-45	-9	6

しかし、憂慮すべきは特殊詐欺の急増です。被害金額は4,000万円超と倍増しました。

大阪府は、平成14年から重点犯罪対策として街頭犯罪抑止に取組み、全刑法犯認知件数はピークの平成13年から半減するなど格段に改善しました。

平成28年から、次のステップとして、下記の重点犯罪の抑止を目標に取組みます。

○大阪重点犯罪（大阪全体で取り組む犯罪）

- ・子どもや女性を狙った性犯罪（強姦、強制わいせつ、公然わいせつ、痴漢）
- ・ひったくり・路上強盗
- ・自動車関連犯罪（自動車盜、車上ねらい、部品ねらい）

○河内長野警察署指定犯罪（署として取り組む犯罪）

- ・特殊詐欺（振り込め詐欺、還付金詐欺などお金を請求する詐欺）

河内長野防犯協議会の活動

当防犯協議会の活動の一例を写真で紹介します



○全国地域安全運動
河内長野市民大会
特殊詐欺の防犯寸劇



○安全安心まちづくり
市民大会（共催）
笑福亭仁橋の防火講演

○防犯キャンペーンを行いました



天野山金剛寺で

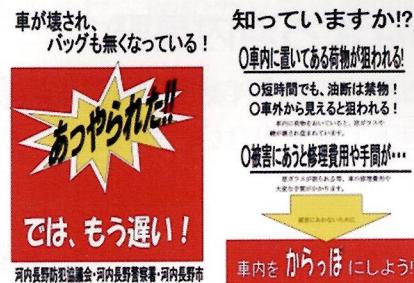


市内スーパーで



市民まつり会場で

○新たに「車上ねらい防止キャンペーン」に取組みました



地域における防犯活動の紹介

○防災行政無線を活用した学童下校時の安全放送

昨年までに、当市では11小学校区にまちづくり協議会が設立され、全市的規模でまちづくりの取り組みが進んでいます。そして各地の協議会でも多様な防犯関連の取組が展開されています。

三日市小学校区まちづくり協議会では、子どもを取り巻く環境は益々厳しさを増していることから、通学路での見守り隊や周辺住民をはじめ「地域全体で子どもを守る」気運の醸成を目的に、既設の防災行政無線を活用して、下校時に子どもの声で地域の皆さんに協力ををお願いするメッセージを放送しています。まだスタートしたばかりですが、その効果を期待しているところです。

（三日市小学校区まちづくり協議会 安全安心部会長 山本 雅司）

こちらは、三日市小学校放送委員会です
いつも登下校で、私たちを見守って
いただきありがとうございます
お蔭で楽しく学校生活を送ること
が出来ています
毎日元気いっぱいの三日市小学校
明日も、私たちを応援してください

防犯はボクの目 キミの目 みんなの目

○安全・安心な楠ヶ丘を目指して

地域の防犯活動の一環として防犯標語を募集し、60点を超える応募の中から優秀作品7点を選出。防犯掲示板など各所に掲示して住民の防犯意識の向上に役立てています。

- ・目配り、気配り、ひと声かけて、みんなで守ろう楠ヶ丘
- ・散歩中、あいさつ、声掛け、パトロール
- ・一声かけて回覧版、送ってつなぐ、楠ヶ丘の輪
- ・「明るいね」今日も門灯有難う
- ・こえかけて、かぎかけしたら、おでかけだ
- ・消したはず、決めつけないで、もう一度

楠ヶ丘では、楠ヶ丘公共交通（愛称「くすまる」）が町内10カ所の停留所と三日市町駅との間を1日18便運行しており、その「くすまる」にも防犯標語を掲示して町内を巡回しています。



くすまるも、窓から町内パトロール
楠ヶ丘公共交通委員会

（楠ヶ丘防犯委員会委員長 植村 光章）

○「より安全・安心で住みよい上原のまち」づくりを

上原町・上原西町は細長い区域で、開発等で転入世帯が増えています。又、大型商業施設が集中し、人・車の出入りも大変増えています。したがって、地域の防犯活動はこれまで以上に重要になっています。



毎年開催の「上原ふれあい祭り」で、防犯のPRと共に、2年連続で防犯教室を開催しました。「地域で防犯始めませんか?」「振り込め詐欺」をテーマに防犯意識の認識が大いに深まりました。子どもの安全を守る為、登下校の見守り活動では、上原は通学距離が遠く、かつ、上原西町は旧170号線及び外環状線を横断しなければならないので、大変危険を伴います。そのため、登校時、学校まで同行する見守りを町会の皆さんと続けています。又、夏・冬休みには、防犯委員が夜間パトロールを行っています。ふれあいと温もりのある安全・安心のまちづくりのため「防犯声かけ・あいさつ運動」を実施しており、この幟を町内に掲出しています。今後とも「より安全・安心で住みよい上原のまちづくり」に努めます。

（上原防犯委員会委員長 畑浦 邦男）



防犯カメラの普及促進について

昨年8月、寝屋川市で中学1年生の男女が誘拐され殺害された事件で、防犯カメラが犯人逮捕に大変役立ったそうです。それ以外の多くの事件でも防犯カメラは警察の捜査に大きな威力を発揮していると報道されています。

防犯カメラの効果は絶大です

①犯罪抑止効果

犯罪を敢行しようとする潜在的犯罪者に犯行を思いとどまらせる効果。

②その場所の住民や利用者の安心感を醸成する効果。

③被害拡大を防止する効果

犯罪が発生した場合には、記録画像を捜査に活用して犯人を早期に検挙することによりその後の被害の拡大を防止する効果。

河内長野市では、補助制度として、1台につき10万円を限度に設置費用を補助することとされていますが、自治会の財政事情もあって、なかなか浸透していないのが実態です。平成27年末現在で見ても、市内の設置台数は合計で87台（自治会関係のみ、企業除く）しかなく、寂しい限りです。市内各所に防犯カメラを設置し、各所に「防犯カメラ作動中」という看板を掲げることにより、犯人から見れば、あちこちにカメラの目が光っていることになり、犯罪抑止力として大きな効果が期待できると考えます。皆さんの地域でも自治会で、予算を工夫して防犯カメラを設置、または増設されることをお勧めいたします。



安全安心なまち河内長野を確立するために、防犯カメラや照明灯そして夜間を明るく！の「一戸一灯運動」の定着など防犯環境の整備が極めて大切です。

（防犯協議会副会長 向井 寛司）

特殊詐欺被害に遭わないために

河内長野市において、電子マネーを使った架空請求詐欺が発生しています。犯人は電話で、コンビニ等で販売しているプリペイドカード（アマゾンカード等の）の電子マネーを大量に購入するように教示し、カードに記載されたIDを聞きだし、購入した金額分を騙し取る手口です。

河内長野市でも実際に10万円を超える被害の届け出がありました。中には、大量にプリペイドカードを購入する被害者の異常な行動にコンビニ店員が不審を抱き、声を掛けたところ詐欺被害であることが判明し、被害を未然に防いだ事例もあります。



家族や友人で相談や声を掛け合い、詐欺被害に遭われないよう、気を付けて下さい。

（河内長野警察署 生活安全課 防犯係）